

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	いの町	代表者名	池田 牧子		
担当者部署	総合政策課	連絡先電話番号	088-893-1112		
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	竹崎 友紀	連絡先E-mail	
住所	781-2192 高知県いの町1700-1				

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	隅田 徹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイスが詳細で現実味のある内容であった。講師のお住まいである徳島県神山町が、いの町の本川地区と似通っており、共感することが多くあった。
アドバイザーへの要望事項	事業終了後も継続して交流できるように、お願いした。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年2月3日	9時30分	12時00分		150
3-2. 派遣場所	会場名	本川総合支所		最寄駅	JR伊野駅
	所在地	高知県吾川郡いの町長沢123-12		最寄駅からの交通手段	公用車
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本川地区は広大な面積の中に400名が点在して暮らしており、高齢化率は50%を超えている。地域では、マンパワー不足に陥り、活力がない地域が多い。かつての教育施設は休廃校施設となり、利活用がされていない施設が多数存在する。耐震性のない施設もあり、今後の用途とマンパワーの確保が課題となっている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	休廃校舎の利活用のイメージを具体的に助言頂き、本川地区に即した利活用について、検討していきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	徳島県神山町で展開されている、サテライトオフィスの状況やNPO法人の活動状況、地域おこし協力隊の現状をご説明頂き、その活動が、本川地区なら何が出来るかを、考えることができた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	移住者の受け入れについて、田舎の当たり前(ギャップ)をなくすことが受入れの第一歩であり、役場が防衛ラインの役割を果たすことができれば、大きく変わることができる。(例:消防団、地区の草刈り等)移住したいと思ってもらえる地域をつくる。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	隅田講師から様々なお話を伺うことができたが、調整不足もあって、意見を交換することができなかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 後日検討会を開催することにしたため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	出来ないイメージを払拭し、どこどの建物がどういった活用が出来るかを話していく中で、出来るイメージを持てる思考に改革していく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

